

(科目コード : 7009020006AA)

【改訂】第9版(2017-09-06)

【科目】実用英語B

【科目分類】一般科目 【選択・必修の別】選択必修 【学期・単位数】後期・1単位

【対象学科・専攻】生産システム,環境 1年

【担当教員】伊藤 文彦

【授業目標】

英語で自己の考えを表現することができる
英文パラグラフの型を理解できる
単文(simple sentence), 重文(compound sentence), 複文(complex sentence)を理解できる
日本人がよく間違える英語表現を学習する
複数のパラグラフエッセイを書くことができる

【教育方針・授業概要】

アカデミックエッセイの基礎を学習する。

【教科書・教材・参考書等】

教科書: 英語モードが身につくライティング: 大井恭子・伊藤文彦: 研究社: 978-4-327-42187-8

参考書: 英語論文の書式と使える表現集: 杉野俊子・伊藤文彦: ナツメ社

参考書: トータル・イングリッシュ: 杉田米行: 大阪大学出版会

【授業形式・視聴覚・機器等の活用】

座学。適宜、視聴覚機器を使用する予定。

【メッセージ】

英語は私たちにとって外国語ですから、その理解のために私たちは母語である日本語の枠組みを基にしようとしません。それは当然なこと、非難されるべきことではありません。英語も日本語同様、主語、述語という文の構成要素があり、名詞、動詞、形容詞という品詞があります。ですから、これらの手がかりをもとに新たな言語である英語を理解し、身につけようとするのは、母語を確立した学習者の一般的な学習の仕方です。しかしながら、所詮英語と日本語は異なる言語です。あまりにも母語の枠組みにとらわれて母語と同じ発想で英語も整理しようとする、英語らしからぬ英文になってしまいます。

Section 1-9では、日本人英語学習者にとって盲点・急所と思われるところがクローズアップされています。Section 10以降では、単文・重文・複文及びパラグラフライティングについて説明されています。

High English proficiency will be yours by virtue of daily continuous practice.

【事前に行う準備学習】

準備学習としての課題を授業内で指示する。

【成績評価方法】

[後期]中間試験: 0%, 期末試験: 80%, レポート: 20%

【達成目標】

	達成目標	割合	評価方法
1	教科書、参考書で扱われているライティング項目を体系的に学習する	80 %	後期期末テストの実施
2	課題解決型の英語課題をこなす能力	20 %	提出課題により評価する

【本校の学習・教育目標】

(E-3) 母国語以外の外国語で自己の考えを伝える基礎的能力を獲得する

【JABEE評価】

(f) 日本語による論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力および国際的に通用するコミュニケーション基礎能力

【授業計画】(実用英語B)

回数	授業の主題	内容	レポート	宿題
1-7	section 1-9	book report oral practice (履修人数による) 日本人がよく間違える英語表現を学習する two paragraph essay	パラグラフライティング	Reading
8-15	section 1-9	oral practice(履修人数による) 日本人がよく間違える英語表現を学習する three/four paragraph essay ・English activity for fun (movies, songs, riddles)	パラグラフライティング	Reading